

科名 血液内科  
 対象疾患名 急性骨髄性白血病  
 プロトコール名 ベネクレクスタ+LDAC

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	...	28
1	皮下注		キロサイド	20mg/m <sup>2</sup>		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
2	内服		ベネクレクスタ		1日1回食後	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

★1コース=28日

～MEMO～

・催吐レベル2(10%以上30%未満)

〈ベネクレクスタ〉

・1クール目の用量漸増期は1日目100mg、2日目200mg、3日目400mg、4日目600mgを内服、その後の維持投与期は600mgを内服

・中程度のCYP3A阻害剤を併用する場合

1日目50mg以下、2日目100mg以下、3日目200mg以下、4日目以降300mg以下を服用

・強いCYP3A阻害剤(リトナビル、クラリスロマイシン、イトラコナゾール、ボリコナゾール、ボサコナゾール、コピシスタット、グレープフルーツジュース等)を併用する場合

1日目10mg、2日目20mg、3日目50mg以降50mg服用

腫瘍崩壊症候群があらわれることがあるため、以下の点に注意。

・白血球数が25000/μL未満になるよう、本剤開始前に調整を行うこと。

・投与開始前から、高尿酸血症治療剤の投与を行うこと。

・治療開始前から用量漸増期を通じて、1.5-2L/日の水分補給